



VMware ワークロードの保護 (SnapCenter Plug-in for VMware を使用)

NetApp Backup and Recovery

NetApp
February 10, 2026

目次

VMware ワークロードの保護 (SnapCenter Plug-in for VMware を使用)	1
NetApp Backup and Recoveryの概要における仮想マシンのワークロードの保護	1
NetApp Backup and Recoveryにおける仮想マシンワークロードの前提条件	1
NetApp Backup and Recoveryでデータストアをバックアップするためのポリシーを作成する	3
NetApp Backup and RecoveryでデータストアをAmazon Web Servicesにバックアップする	4
NetApp Backup and Recoveryを使用してデータストアを Microsoft Azure にバックアップする	5
NetApp Backup and Recoveryを使用してデータストアを Google Cloud Platform にバックアップする	6
NetApp Backup and Recoveryを使用してデータストアをStorageGRIDにバックアップする	7
NetApp Backup and RecoveryでデータストアとVMの保護を管理する	8
ポリシーを表示	8
データストアと仮想マシンを表示する	8
データストアの保護を解除する	9
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを編集する	9
リソースとバックアップを更新する	9
ポリシーまたはリソース グループを更新する	9
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの登録を解除します	9
ジョブを監視	10
NetApp Backup and Recoveryで仮想マシンのデータを復元する	10

VMware ワークロードの保護 (SnapCenter Plug-in for VMware を使用)

NetApp Backup and Recoveryの概要における仮想マシンのワークロードの保護

NetApp Backup and Recoveryを使用して仮想マシンのワークロードを保護します。NetApp Backup and Recovery は、 VM、 データストア、 VMDK に対して、 高速でスペース効率が高く、クラッシュ整合性と VM 整合性のあるバックアップおよびリストア操作を提供します。

データストアを Amazon Web Services S3、Microsoft Azure Blob、Google Cloud Platform、StorageGRIDにバックアップし、仮想マシンをオンプレミスのSnapCenter Plug-in for VMware vSphereに復元できます。



NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

仮想マシンのワークロードを保護する手順については、次のトピックを参照してください。

- "[VMwareワークロードのポリシーを作成する](#)"
- "[VMware データストアを Amazon Web Services にバックアップする](#)"
- "[VMware データストアを Microsoft Azure にバックアップする](#)"
- "[VMware データストアを Google Cloud Platform にバックアップする](#)"
- "[VMwareデータストアをStorageGRIDにバックアップする](#)"
- "[VMwareワークロードを復元する](#)"
- "[VMware ワークロードの保護を管理する](#)"

NetApp Backup and Recoveryにおける仮想マシンワークロードの前提条件

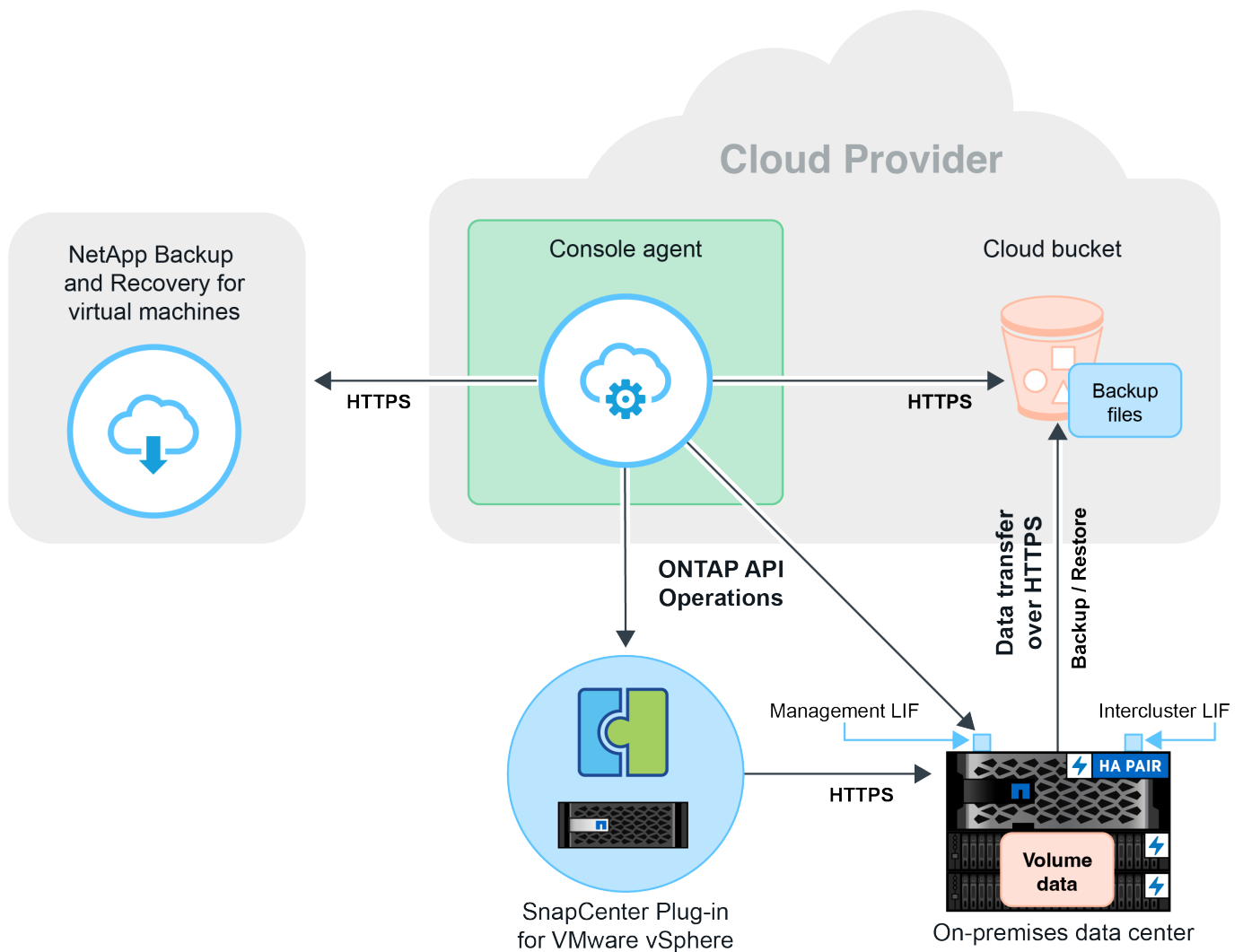
NetApp Backup and Recoveryを使用して仮想マシンのワークロードを保護する前に、次の前提条件を満たしていることを確認してください。

- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere
 - オンプレミスのセカンダリ ストレージからデータストアをバックアップするには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用する必要があります。
- ONTAP 9.8 以降
- NetApp Console
- NFS および VMFS データストアがサポートされています。vVolsはサポートされていません。
- VMFS をサポートするには、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが4.9 以降で実行されている必要があります。 SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストが以前のバージョンから 4.9 リリースにアップ

グレードされた場合は、必ず VMFS データストアのバックアップを作成してください。

- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.6P1 で少なくとも 1 つのバックアップが作成されている必要があります。
- コンソールの仮想マシン ポリシーと同じラベルまたはラベルのない、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの少なくとも 1 つの日次、週次、または月次ポリシー。
- 事前に設定されたポリシーの場合、スケジュール層は、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとクラウドのデータストアで同じである必要があります。
- FlexGroupボリュームのバックアップと復元はサポートされていないため、データストアにFlexGroupボリュームがないことを確認してください。
- 必要なリソース グループで「_recent」を無効にします。リソース グループに対して「_recent」が有効になっている場合、それらのリソース グループのバックアップはクラウドへのデータ保護に使用できず、その後の復元操作にも使用できません。
- 仮想マシンを復元する宛先データストアに、VMDK、VMX、VMSD などのすべての仮想マシン ファイルのコピーを格納できる十分なスペースがあることを確認します。
- 以前の復元操作の失敗により、復元先のデータストアに restore_xxx_xxxxxx_filename 形式の古い仮想マシン ファイルがないことを確認します。復元操作を開始する前に、古いファイルを削除する必要があります。
- プロキシが構成されたコネクタを展開するには、すべての送信コネクタ呼び出しがプロキシ サーバー経由でルーティングされることを確認します。
- データストアをバックアップするボリュームがボリューム タブ (NetApp Backup and Recovery → ボリューム) からすでに保護されている場合、同じデータストアを仮想マシン タブ (NetApp Backup and Recovery → 仮想マシン) から再度保護することはできません。

次の図は、各コンポーネントとそれらの間で準備する必要がある接続を示しています。



NetApp Backup and Recoveryでデータストアをバックアップするためのポリシーを作成する

ポリシーを作成するか、NetApp Backup and Recoveryで使用可能な次の定義済みポリシーのいずれかを使用することができます。



NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

開始する前に

- 定義済みのポリシーを編集したくない場合は、ポリシーを作成する必要があります。
- バックアップをオブジェクトストアからアーカイブストレージに移動するには、ONTAP 9.10.1以降を実行し、Amazon Web Services または Microsoft Azure をクラウドプロバイダーにする必要があります。
- 各クラウドプロバイダーのアーカイブアクセス層を構成する必要があります。

タスク概要

NetApp Consoleでは、次の定義済みポリシーを使用できます。

ポリシー名	ラベル	保持価値
1年間の日次LTR（長期保持）	日次	366
5年間の毎日のLTR	日次	1830
7年間の週次LTR	週次	370
10年間の月払いLTR	毎月	120

手順

1. [仮想マシン] ページの [設定] ドロップダウン リストから [ポリシー] を選択します。
2. *ポリシーの作成*を選択します。
3. 「ポリシーの詳細」セクションで、ポリシー名を指定します。
4. 「保持」セクションで、保持タイプの 1 つを選択し、保持するバックアップの数を指定します。
5. バックアップ ストレージ ソースとしてプライマリまたはセカンダリを選択します。
6. (オプション) コストの最適化のために、一定の日数後にバックアップをオブジェクト ストアからアーカイブ ストレージに移動する場合は、[バックアップをアーカイブに階層化] チェックボックスをオンにして、バックアップをアーカイブするまでの日数を入力します。
7. *作成*を選択します。



データストアに関連付けられているポリシーを編集または削除することはできません。

NetApp Backup and RecoveryでデータストアをAmazon Web Servicesにバックアップする

NetApp Backup and Recoveryを使用して 1 つ以上のデータストアを Amazon Web Services にバックアップおよびアーカイブし、ストレージ効率とクラウド移行を向上させることができます。

データストアがアーカイブ ポリシーに関連付けられている場合は、アーカイブ層を選択するオプションがあります。サポートされているアーカイブ層は、Glacier と Glacier Deep です。




NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

開始する前に

すべての要件を満たしていることを確認してください"[仮想マシンの保護要件](#)"データストアをクラウドにバックアップする前に。

手順

1. コンソール UI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン を選択します。

2. 選択  バックアップするデータストアに対応する*バックアップのアクティブ化*をクリックします。
3. [ポリシーの割り当て] ページでポリシーを選択し、[次へ] を選択します。
4. システムを追加します。

コンソールで検出するクラスタ管理 LIF を設定します。いずれかのデータストアにシステムを追加した後、同じONTAPクラスタ上に存在する他のすべてのデータストアにそのシステムを再利用できます。

- a. SVM に対応する システムの追加 を選択します。
 - b. システムの追加ウィザードで次の操作を実行します。
 - i. クラスタ管理 LIF の IP アドレスを指定します。
 - ii. ONTAPクラスタ ユーザーの資格情報を指定します。
 - c. *システムの追加*を選択します。
5. **Amazon Web Services** を選択して、クラウド プロバイダーとして設定します。
- a. AWS アカウントを指定します。
 - b. AWS アクセスキーフィールドで、データ暗号化のキーを指定します。
 - c. AWS 秘密キーフィールドに、データ暗号化のパスワードを指定します。
 - d. バックアップを作成するリージョンを選択します。
 - e. システムとして追加されたクラスタ管理 LIF の IP アドレスを指定します。
 - f. アーカイブ層を選択します。

これは 1 回限りのアクティビティであり、後で設定することはできないため、アーカイブ層を設定することをお勧めします。

6. 詳細を確認し、「バックアップをアクティブ化」を選択します。

NetApp Backup and Recoveryを使用してデータストアをMicrosoft Azure にバックアップする

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストをNetApp Backup and Recoveryと統合することで、1 つ以上のデータストアを Microsoft Azure にバックアップできます。これにより、VM 管理者は、ストレージ効率を高め、クラウド移行を加速するために、データを簡単にすばやくバックアップおよびアーカイブできるようになります。

データストアがアーカイブ ポリシーに関連付けられている場合は、アーカイブ層を選択するオプションが提供されます。サポートされているアーカイブ層は Azure Archive Blob Storage です。




NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

開始する前に

すべての要件を満たしていることを確認してください"[仮想マシンの保護要件](#)"データストアをクラウドにバックアップする前に。

手順

1. NetApp ConsoleUI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン を選択します。
2. 選択  バックアップするデータストアに対応し、「バックアップのアクティブ化」を選択します。
3. [ポリシーの割り当て] ページでポリシーを選択し、[次へ] を選択します。
4. システムを追加します。

コンソールで検出するクラスタ管理 LIF を設定します。いずれかのデータストアにシステムを追加した後、同じONTAPクラスタ上に存在する他のすべてのデータストアにそのシステムを再利用できます。

- a. SVM に対応する システムの追加 を選択します。
 - b. システムの追加ウィザードで次の操作を実行します。
 - i. クラスタ管理 LIF の IP アドレスを指定します。
 - ii. ONTAPクラスタ ユーザーの資格情報を指定します。
 - c. *システムの追加*を選択します。
5. **Microsoft Azure** を選択して、クラウド プロバイダーとして構成します。
 - a. Azure サブスクリプション ID を指定します。
 - b. バックアップを作成するリージョンを選択します。
 - c. 新しいリソース グループを作成するか、既存のリソース グループを使用します。
 - d. システムとして追加されたクラスタ管理 LIF の IP アドレスを指定します。
 - e. アーカイブ層を選択します。

これは 1 回限りのアクティビティであり、後で設定することはできないため、アーカイブ層を設定することをお勧めします。

6. 詳細を確認し、「バックアップをアクティブ化」を選択します。

NetApp Backup and Recoveryを使用してデータストアを Google Cloud Platform にバックアップする

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereをNetApp Backup and Recoveryと統合することで、1 つ以上のデータストアを Google Cloud Platform にバックアップできます。これにより、VM 管理者は、ストレージ効率を高め、クラウド移行を加速するために、データを簡単にすばやくバックアップおよびアーカイブできるようになります。




NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

開始する前に

すべての要件を満たしていることを確認してください"[仮想マシンの保護要件](#)"データストアをクラウドにバックアップする前に。

手順

1. NetApp ConsoleUI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン を選択します。
2. 選択  バックアップするデータストアに対応し、「バックアップのアクティブ化」を選択します。
3. [ポリシーの割り当て] ページでポリシーを選択し、[次へ] を選択します。
4. システムを追加します。

コンソールで検出するクラスタ管理 LIF を設定します。いずれかのデータストアにシステムを追加した後、同じONTAPクラスタ上に存在する他のすべてのデータストアにそのシステムを再利用できます。

- a. SVM に対応する システムの追加 を選択します。
 - b. システムの追加ウィザードで次の操作を実行します。
 - i. クラスタ管理 LIF の IP アドレスを指定します。
 - ii. ONTAPクラスタ ユーザーの資格情報を指定します。
 - c. *システムの追加*を選択します。
5. **Google Cloud Platform** を選択して、クラウド プロバイダーとして設定します。
 - a. バックアップ用に Google Cloud Storage バケットを作成する Google Cloud プロジェクトを選択します。
 - b. Google Cloud アクセスキー フィールドにキーを指定します。
 - c. Google Cloud 秘密キー フィールドにパスワードを指定します。
 - d. バックアップを作成するリージョンを選択します。
 - e. IP 空間を指定します。
 6. 詳細を確認し、「バックアップをアクティブ化」を選択します。

NetApp Backup and Recoveryを使用してデータストアをStorageGRIDにバックアップする

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストをNetApp Backup and Recoveryと統合することで、1 つ以上のデータストアをStorageGRIDにバックアップできます。これにより、VM 管理者は、ストレージ効率を高め、クラウド移行を加速するために、データを簡単にすばやくバックアップおよびアーカイブできるようになります。




NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

開始する前に

すべての要件を満たしていることを確認してください"[仮想マシンの保護要件](#)"データストアをクラウドにバックアップする前に。

手順

1. NetApp ConsoleUI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン を選択します。
2. 選択  バックアップするデータストアに対応する*バックアップのアクティブ化*をクリックします。
3. [ポリシーの割り当て] ページでポリシーを選択し、[次へ] を選択します。

4. システムを追加します。

コンソールで検出するクラスタ管理 LIF を設定します。いずれかのデータストアにシステムを追加した後、同じONTAPクラスタ上に存在する他のすべてのデータストアにそのシステムを再利用できます。

- a. SVM に対応する システムの追加 を選択します。
- b. システムの追加ウィザードで次の操作を実行します。
 - i. クラスタ管理 LIF の IP アドレスを指定します。
 - ii. ONTAPクラスタ ユーザーの資格情報を指定します。

c. *システムの追加*を選択します。

5. *StorageGRID*を選択します。

- a. ストレージ サーバーの IP を指定します。
- b. アクセスキーとシークレットキーを選択します。

6. 詳細を確認し、「バックアップをアクティブ化」を選択します。

NetApp Backup and RecoveryでデータストアとVMの保護を管理する

NetApp Backup and Recoveryを使用してデータをバックアップおよび復元する前に、ポリシー、データストア、仮想マシンを表示できます。データベース、ポリシー、またはリソース グループの変更に応じて、NetApp ConsoleUI から更新を表示できます。



NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

ポリシーを表示

あらかじめ用意されたデフォルトのポリシーをすべて表示できます。これらのポリシーごとに詳細を表示すると、関連付けられているすべてのポリシーと仮想マシンが一覧表示されます。

1. コンソール UI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン を選択します。
2. *設定*ドロップダウンから*ポリシー*を選択します。
3. 詳細を表示するポリシーに対応する*詳細の表示*を選択します。

関連付けられているポリシーと仮想マシンが一覧表示されます。

データストアと仮想マシンを表示する

登録されたSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用して保護されているデータストアと仮想マシンが表示されます。

手順


1. コンソール UI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン > 設定 > * SnapCenter Plug-in for VMware vSphere* を選択します。

2. データストアと仮想マシンを表示するSnapCenter Plug-in for VMware vSphereを選択します。

データストアの保護を解除する

以前に保護されていたデータストアの保護を解除できます。クラウド バックアップを削除する場合、またはクラウドにバックアップする必要がなくなった場合は、データストアの保護を解除できます。保護解除が成功すると、データストアを再度保護できるようになります。


手順

1. コンソール UI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン を選択します。
2. アクションアイコンを選択します  保護を解除するデータストアに対応する 保護解除 を選択します。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを編集する


コンソールで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストの詳細を編集できます。

手順

1. コンソール UI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン > 設定 > * SnapCenter Plug-in for VMware vSphere* を選択します。
2. アクションアイコンを選択します  *編集*を選択します。
3. 必要に応じて詳細を変更します。
4. *保存*を選択します。


リソースとバックアップを更新する

アプリケーションに追加された最新のデータストアとバックアップを表示するには、リソースとバックアップを更新する必要があります。これにより、リソースとバックアップの検出が開始され、最新の詳細が表示されます。

1. バックアップとリカバリ > *仮想マシン*を選択します。
2. 設定 ドロップダウンから、* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere* を選択します。
3. アクションアイコンを選択します  SnapCenter Plug-in for VMware vSphereに対応し、[リソースとバックアップの更新] を選択します。

ポリシーまたはリソース グループを更新する

ポリシーまたはリソース グループに変更があった場合は、保護関係を更新する必要があります。

1. バックアップとリカバリ > *仮想マシン*を選択します。
2. アクションアイコンを選択します  データストアに対応し、[保護の更新] を選択します。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの登録を解除します

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストに関連付けられているすべてのデータストアと仮想マシンは保護されなくなります。

1. バックアップとリカバリ > *仮想マシン*を選択します。
2. 設定 ドロップダウンから、* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere* を選択します。
3. アクションアイコンを選択します ***SnapCenter Plug-in for VMware vSphereに対応する [登録解除] を選択します。

ジョブを監視

すべてのNetApp Backup and Recovery操作に対してジョブが作成されます。すべてのジョブと、各タスクの一部として実行されるすべてのサブタスクを監視できます。

1. バックアップとリカバリ > *ジョブ監視*を選択します。

操作を開始すると、ジョブが開始されたことを示すウィンドウが表示されます。リンクを選択してジョブを監視できます。

2. プライマリ タスクを選択すると、サブ タスクと各サブ タスクのステータスが表示されます。

NetApp Backup and Recoveryで仮想マシンのデータを復元する

NetApp Backup and Recoveryを使用すると、クラウドからオンプレミスの vCenter Server に仮想マシンのデータを復元できます。仮想マシンを、バックアップが作成された場所とまったく同じ場所に復元することも、別の場所に復元することもできます。仮想マシンがアーカイブ ポリシーを使用してバックアップされた場合は、アーカイブ復元の優先順位を設定できます。



データストアにまたがる仮想マシンを復元することはできません。



NetApp Backup and Recoveryのワークロードを切り替えるには、"[さまざまなNetApp Backup and Recoveryワークロードに切り替える](#)"。

開始する前に

- すべての要件を満たしていることを確認してください"[仮想マシンの保護要件](#)"データストアをクラウドにバックアップする前に。
- 別の場所に復元する場合:
 - ソース vCenter とターゲット vCenter がリンク モードになっていることを確認します。
 - NetApp Consoleの*Systems* ページと、両方のSnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストのリンク モードの vCenter に、ソース クラスタと宛先クラスタの詳細が追加されていることを確認します。
 - コンソールの システム ページで、他の場所にシステムが追加されていることを確認します。

手順

1. コンソール UI で、保護 > バックアップとリカバリ > 仮想マシン > * SnapCenter Plug-in for VMware vSphere* を選択し、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストを選択します。



VMware vSphere vMotion を使用して仮想マシンを移動し、コンソールから復元すると、Backup and Recovery によって元のバックアップ場所に復元されます。

1. 仮想マシンを元の場所またはデータストアまたは仮想マシンの別の場所に復元できます。

仮想マシンを復元する場合...	操作
データストアから元の場所へ	<ol style="list-style-type: none">1. アクションアイコンを選択します...復元するデータストアに対応する [詳細の表示] をクリックします。2. 復元したいバックアップに対応する*復元*を選択します。3. バックアップから復元する仮想マシンを選択し、「次へ」を選択します。4. *オリジナル*が選択されていることを確認し、*続行*を選択します。5. 仮想マシンがアーカイブ設定が構成されているポリシーを使用して保護されている場合は、*アーカイブ復元優先度*を選択し、*次へ*を選択します。 サポートされているアーカイブ復元の優先順位は、Amazon Web Services の場合は高、標準、低、Microsoft Azure の場合は高と標準です。6. 詳細を確認し、「復元」を選択します。

仮想マシンを復元する場合...	操作
データストアから別の場所へ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクションアイコンを選択します ... 復元するデータストアに対応する [詳細の表示] を選択します。 2. 復元したいバックアップに対応する*復元*を選択します。 3. バックアップから復元する仮想マシンを選択し、「次へ」を選択します。 4. *代替*を選択します。 5. 代替の vCenter Server、ESXi ホスト、データストア、およびネットワークを選択します。 6. 復元後の VM の名前を指定して、[続行] を選択します。 7. 仮想マシンがアーカイブ設定が構成されているポリシーを使用して保護されている場合は、*アーカイブ復元優先度*を選択し、*次へ*を選択します。 サポートされているアーカイブ復元の優先順位は、Amazon Web Services の場合は高、標準、低、Microsoft Azure の場合は高と標準です。 8. 詳細を確認し、「復元」を選択します。
仮想マシンから元の場所へ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクションアイコンを選択します ... 復元する仮想マシンに対応する 復元 を選択します。 2. 仮想マシンを復元するバックアップを選択します。 3. *オリジナル*が選択されていることを確認し、*続行*を選択します。 4. 仮想マシンがアーカイブ設定が構成されているポリシーを使用して保護されている場合は、*アーカイブ復元優先度*を選択し、*次へ*を選択します。 サポートされているアーカイブ復元の優先順位は、Amazon Web Services の場合は高、標準、低、Microsoft Azure の場合は高と標準です。 5. 詳細を確認し、「復元」を選択します。

仮想マシンを復元する場合...	操作
仮想マシンから別の場所へ	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクションアイコンを選択します ... 復元する仮想マシンに対応する 復元 を選択します。 2. 仮想マシンを復元するバックアップを選択します。 3. *代替*を選択します。 4. 代替の vCenter Server、ESXi ホスト、データストア、およびネットワークを選択します。 5. 復元後の VM の名前を指定して、[続行] を選択します。 6. 仮想マシンがアーカイブ設定が構成されているポリシーを使用して保護されている場合は、*アーカイブ復元優先度*を選択し、*次へ*を選択します。 サポートされているアーカイブ復元の優先順位は、Amazon Web Services の場合は高、標準、低、Microsoft Azure の場合は高と標準です。 7. 詳細を確認し、「復元」を選択します。



復元操作が完了しない場合は、ジョブ モニターに「失敗」と表示されるまで待ってから、復元操作を再試行してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。